

県陵倶楽部 20 クラス幹事役員会

H29年11月27日(月)に県陵倶楽部20のクラス幹事、会長以下執行部役員16名が集い、来年迎える総会を「県陵卒業50周年」と兼ねた一つの記念事業にしようでは無いかと言う提案を話し合うために役員会を開いた。

佐藤実行委員長より来年迎える「県陵卒業50周年」を一つの記念事業にしようでは無いかと言う提案主旨説明が行われた。

県陵同窓会では毎年50周年を迎える同窓生が取り組んだ参考例などの紹介もあった。

同時に母校県陵同窓会の会計について、毎年の会報発行等にかかる経費が現状の会費収入を超え、このままでは同窓会活動に大きな支障が出ることを報告され、会員である皆様からの会費納入を切にお願いし、合わせて県陵倶楽部20の同窓生が一つにまとまって、県陵100周年記念事業へとつなげていきたいとの説明がなされた。

議題として

「県陵倶楽部20の50周年記念事業を思い出に残る事業にするためになにをしたら良いか」について、出席者一人一人から提案意見を伺った。

まず米窪会長から、数年前からの役員会での意見として、記念樹の植樹、図書などの贈呈と言う案が有ると提案された。

以下、どんな意見も一つの提案として箇条書きにしてみると

1. 松本県ヶ丘高等学校が生徒数の減少により、中信平の他校と合併され無くなる。
2. 松本駅から学校までの県陵街道を「大道を闊歩せよ」イベント。
3. 競歩大会を再現する。これは無理すぐ却下された
4. 母校に集まろう。学校の先生の授業をもう一度受けよう。
5. 今の学生、若者に50年間社会の荒波を生き抜いてきた我々世代から、人としての本当の生き方、学問だけが全てでは無い、何を残せるかを伝えたい
6. 本日の会議で提案されたことなどを、広く一人でも多くの同窓生に伝えるために、広報活動を強化する。そのために、広報部を設置し、広報部長に小池財司君、副部長に鳥居國男君をお願いし、ホームページの充実、書き込み可能なページを作るなどを依頼した。
7. 我々の時代は県陵3大精神「質実剛健であれ、大道を闊歩せよ、弱音を吐くな」を胸に刻み、目標として行動してきた。これを今の若者に伝えたい。
8. 今の若者と若い先生方と、合同パーティーを開く。
9. 一人でも多くの仲間に参加を呼び掛けるために、部活動を通したり、出身中学校の輪、地域の輪を利用して、声掛けをしたらどうか。

以上のような意見が出され、50周年記念事業にはどのような内容が良いか、幹事一任と言う事で閉会となった。

今後の予定としては、ホームページを広く知らせる為に広報部にメールアドレスリストを集約して発信すると共に、12月中にはイベントの内容を絞り込み、1月にはその内容をクラス幹事から各クラスの名簿を利用して周知を図り、誘いの言葉を掛けて頂くようにしたらどうか。